

令和5年度都立八丈高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
英語	生徒の「主体的に学習に取り組む態度」の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・【年度当初】学習の振り返りと目標設定・目標設定の共有(生徒) ・【授業】文化・社会・科学等の話題に関わる言語活動の充実・言語活動の記録と振り返り・AI教材「Qureous」等を活用した学習と振り返り(生徒) ・【家庭学習】学習の記録と振り返り(生徒) ・【パフォーマンステスト】自己評価と相互評価(生徒) ・【定期考査】評価の場面の確認・学習の振り返り・振り返りの共有(生徒) 	<ul style="list-style-type: none"> ・【年度当初】情報共有・分析・協議・授業改善(教員) ・【授業】情報共有・分析・協議・授業改善(教員) ・【家庭学習】情報共有・分析・協議・授業改善(教員) ・【パフォーマンステスト】情報共有・分析・協議・授業改善(教員) ・【定期考査】情報共有・分析・協議・授業改善(教員)
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・統一的な評価基準の策定 ・2025年度の大学入学共通テストに向けた対策 ・「情報Ⅱ」の授業研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画とそのルーブリックを作成 ・新しく導入したデジタル教材を活用した授業を展開及び「情報Ⅰ」に関する研修会に出席 ・文科省が出している「情報Ⅱ」に関する教員研修資料を閲覧 ・数学科や英語科、社会科などと教科横断的な学習を模索 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーブリックに基づく評価を生徒に還元し、振り返りシートを活用しながら主体的に学ぶ態度の育成を図る ・デジタル教材と研修会の内容を融合し実践 ・来年度に向けて「情報Ⅱ」の充実化を図る ・数学科や英語科、社会科などと教科横断的な学習を実施
国語	生徒自身が「自ら学びたい」という主体性を高める授業の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・評価規準を明確にし、指導と評価の一体化を図る。 ・生徒たちが自身が積極的に参画する主体的・対話的な授業の展開。 ・教科横断的な授業を展開 ・非認知能力の伸長を図る授業の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業計画、指導内容、評価方法を明確化・可視化し、適宜PDCAを回していく。 ・生徒が自ら授業の一部をコーディネートし、実践していく。 ・教科横断的な授業の学習シートに基づき、意図的計画的に教科間が連携して授業計画の立案・実施する。 ・授業ごとにアンケートを実施し、生徒の非認知能力の変化を分析・可視化する。
数学	数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発 ・問題解決の過程において、論理的・多角的に考察する活動を重視した授業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施。 ・振り返りシートの活用
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・探究実験を各教科で実施 ・大学入学共通テストの問題分析会を実施 ・探究結果を八高祭や実験室前で掲示による発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・科学の甲子園への出場 ・「探究の過程」を踏まえた授業の相互参観を実施
社会	「思考・判断・表現」を高めるための学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習の充実 ・諸資料の読み解き学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオシートの活用により、成果を「見える化」 ・非認知能力の向上につなげる
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎体力向上に向けた学習活動の充実 ・課題発見・解決能力に繋げる、BYODを導入した学習活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的能動的活動になるよう、種目選択制を実施 ・ロード記録会の実施 ・ICT機器を活用したフォームチェックの実施 ・データの蓄積による成果の可視化、記録のノートを活用 ・ペアワーク・グループ活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共習を前提とした授業展開より、性差について理解を深め、人間関係構築能力の向上し、非認知能力を向上させる
芸術	「見方・考え方」を働かせる学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・八高祭での合唱発表 ・演奏研究の学期末発表 ・題材ごとに作品鑑賞、講評会を実施 ・八高祭での作品や成果物の展示、発表 ・対話的な活動を通じ大作を製作する ・八高祭や校内での学習成果展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力の育成。 ・他教科との教科横断的取り組みを行うことで、題材への理解を深めるとともに、日常生活の中の造形や美術への関心を向上させる。
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の各分野について体系的・系統的に理解する。 ・農業に関する課題の発見し、解決する力を身に付ける。 ・農業の振興に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業クラブ活動、課題研究等を通したプロジェクト学習の実施。 ・全国農業高校収穫祭、八丈島夏まつり、八丈島産業祭等への参加。 ・校内における苗販売の実施。 ・島内保小中学校等への苗の配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ・GAP教育の推進。 ・HACCP教育の推進。 ・市民講師の活用による国際理解教育の推進。 ・地域資源の活用。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を確実に習得する。 ・学習課題に主体的に取り組み、自主的に解決する能力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭技術検定の実施 ・他校、外部施設との連携を図った実習 ・大量調理、行事食実習、校内における弁当販売の実施 ・課題研究発表会の実施 ・体験授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクール等への積極的な応募・入賞 ・他学科、他校との交流による確実な知識・技術の習得
総合的な探究の時間	探究の見方・考え方を働かせ、自己の在り方生き方を考えながら、課題を発見し解決していく資質・能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回の探究学習を、地域を活用しながら進めることで、自己の在り方生き方を根本から考え、進路意識の醸成を図る。 ・地域、教員、生徒、が互いに教え合うことで、互いのよさを生かしながら課題を発見し、解決するためのプロセスを具体的に身につける。 ・地域、教員、生徒が自ら考え係わることで、主体的、協働的に取り組む力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学科を横断した行事を行う。 ・地域と共に地域課題を解決するための取組を行う。 ・他校との交流を通して自己を相対化し、社会への参画意識を高める。
人間と社会	道徳性を養い、判断基準(価値観)を高めることで、社会的現実(参照)し、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶことの意義 働くことの意義 	<ul style="list-style-type: none"> マナーとルール 消費者市民生活 自然と人間の関わり